

そう だい
総 題 「ヨシュア記に学ぶ信仰の教訓」

だいいっ か せいこう ひ けつ じゅう がつよっ か
第1課 成功の秘訣（10月4日）

しもむらかずみ
下村和美

いち あんそくにち ご ご
1. 安息日午後

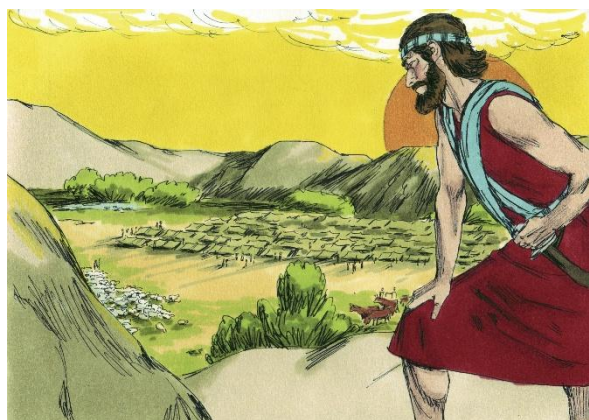
あんしよせい く
[暗唱聖句]

ただ、強く、大いに雄々しくあって、わたしの僕 モーセが命じた律法をすべて忠実に守り、右にも左にもそれではならない。そうすれば、あなたはどこに行っても成功する。(ヨシュア記1:7、新共同訳)

イスラエルの民は、神様によってエジプトの奴隷生活から救い出されてから40年間、荒野で生活しました。エジプトを出た当時のイスラエルの民は、ヨシュアとカレブを除き全て荒れ野で死んでしまいました。そして、神様に従う意志のある新しい世代のイスラエルの民（子どもや孫の世代）が、神様がイスラエルの先祖に与えられた約束の地（カナン）に入ろうとしています。このヨシュアの時代と今の私達の人生に、同じことをなさる神について研究して行きます。

に にちよう び あたら
2. 日曜日：新しいモーセ

イスラエルの民は荒野での40年間、蛇やサソリ、水の無い乾いた地という苦しい環境の中で過ごしました。その辛い環境の中で神様はマナを天から与え、水を堅い岩から出して人々を養い、人々が本当に神様の約束した地に入りたいのかを、辛い環境の中で試しました。



モーセは死に、モーセに代わる新しい指導者として神様はヨシュアを選びました。モーセとヨシュアの二人に共通している点は、神様が約束した土地に民を導くことでした。

しかし、ヨシュアはこの時、「モーセに従っている者」と呼ばれていました。モーセの様に神様の僕、神様に仕える者と呼ばれるには、ヨシュアの生涯にわたる忠実な奉仕と従順が、神に認められる必要がありました。

この**ヨシュア記1章**は、そのモーセとヨシュアの指導者としての交代を描いていますが、最も重要な主人公は、神様自身であることを忘れてはいけません。

3. 月曜日：渡れ！ 取れ！ 分けよ！ 仕えよ！

ヨシュア記1章は、四つのお話で出来ています。

①ヨルダン川を「渡る」こと

②ヨルダン川を渡った先で、神様が先祖に約束された土地を「取る」こと

③とった土地を「分ける」こと

④その分けた土地で、神様の律法を守って神様に仕えて過ごすことでした。

この①～④の取り組みを、神様はヨシュアに任せ、ヨシュアは完了させました。この土地を取ることに成功できたのは、彼が神様に忠実に従ったからです。この忠実さは、神様に心から「仕える」ことによって表すことができます。

ヨシュアが神様に忠実に従った事は、終末時代に住む私達にも求められています。

4. 火曜日：約束の相続人

神様は**ヨシュア記1：2, 3**の中で約束の土地を与えようとしていると告げ、一方で、神様は既に土地を与えたと告げています。「与える」というのは、イスラエルが取った土地はヨルダン川の東側だけで、まだヨルダン川の西側は取ってないので、神様は「与える」と言っています。

これに対して「既に土地は与えた」というのは、神様が言葉で約束されたことは信頼でき、確実に実現するから神様は土地を「与えた」と言っているのです。



この土地はイスラエルの民に与えた物で、神様の働きは続いています。神様が約束された土地を取るのを成功させるためには、神様とヨシュアとイスラエルの民の完全な一致がなければなりません。神様が共にいてくださることが土地を取るのに必要でした。

これは、イエス様の再臨を待つ私達にも「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイ 28：20) という神様が共にいることが必要なことを示しています。

5. 水曜日：強くあれ！

ヨシュアに任された使命は、とても困難な使命でした。敵の城壁はとても強く、その当時、超大国であったエジプトでも壊すことが出来ないほどでした。しかし、イスラエルの民の戦いは、地上の敵との戦いではなく、自分たちがいつも神様に忠実であり、神様と共にいるかでした。

この神様が共にいてくださることが、ヨシュアのおそけさをわたしおなじです。
神様が共にいてくださることを信じる時、疑いや不安は消えるのです。
わたしの挑戦は、わたしが心から主に信頼し、主との個人的な関係を築くことです。

6. 木曜日：繁栄と成功

成功には物質的な繁栄も含まれていますが、もっと大事なことは神様の律法に示されている霊的な価値観と調和した生き方ができているかということです。
神様の約束を信じる信仰のみによる救いと神様の律法に従うことは、切り離せない関係にあります。わたしたちの身代わりとして十字架にかかれ、復活されたイエス様に対する信仰と聖霊の助けによって、私たちは神様の律法の要求に従うことができます。

7. 金曜日：さらなる研究

神様はこの世界を愛してくださり、ひとり子であるイエス・キリストを私達に与えて下さいました。
それは、わたしたちがイエス様を信じる事によって、滅びることなく、永遠の命を得るためでした。
わたしたちが神様の言葉の内にある祈り、約束、教え、警告を自分の経験とし、自分の生活の一部とすることで品性が成長します。
罪人が、自分の力や最高の行いで価値のある人間になることはできないことをはっきり覚えておきましょう。救いは、イエス・キリストへの信仰によって与えられます。

